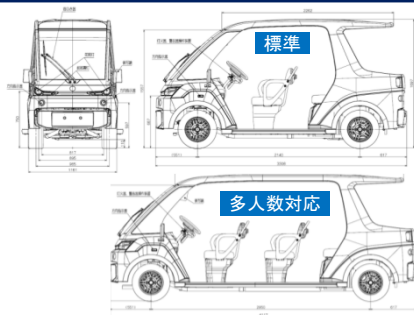


# ラストマイル自動運転

- 最寄駅等と最終目的地を自動運転移動サービスで結ぶ「ラストマイル自動運転」を2020年度に実現するという政府全体の目標を達成するため、経済産業省と連携し、石川県輪島市(昨年12月)、沖縄県北谷町(本年2月)、福井県永平寺町(本年4月)、茨城県日立市(本年10月)において、実証実験を実施。
- 今般、福井県永平寺町において、1名の遠隔監視・操作者が複数車両を担当する自動運転技術の検証を開始する予定。

## 小型カートモデル

小型カート



○ゴルフカートをベースに、乗り降りがしやすいオープン構造とし、多人数対応の仕様展開を予定。

## ①【市街地モデル】石川県輪島市

(小型カート利用)

H29.12~



## ②【過疎地モデル】福井県永平寺町

(小型カート利用)

1:1遠隔監視・操作 H30.4 ~

1:2遠隔監視・操作 H30.11 ~



## 小型バスモデル

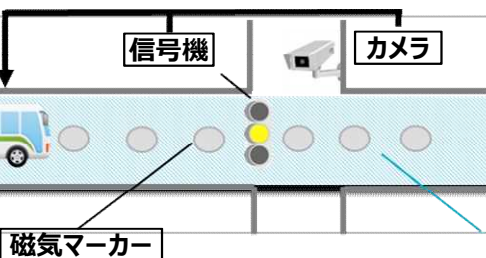


遠隔操作  
 <通常時> 1:N  
 <緊急時> 1:1

GMS/GPSアンテナ、通信アンテナ



小型バス



○公道上に磁気マーカースターを埋設、カメラを設置し、信号機の現示情報取得を行う空間を構築して、その空間上を自動走行バスが走行。

## ③【観光地モデル】沖縄県北谷町

(小型カート利用)

H30.2~



## ④【コミュニティバス】茨城県日立市

H30.10~



## 実験概要

- 実施期間：平成30年11月19日から
- 実施場所：福井県永平寺町の京福電気鉄道永平寺線の廃線跡地の一部路線(永平寺参ロード 自転車歩行者専用道の南側一部区間(約2km)の往復)
- 実施者：産業技術総合研究所、ヤマハ発動機(株)、(株)日立製作所、慶應義塾大学SFC研究所、豊田通商(株) 等
- 実施内容：
  - ・遠隔ドライバー1名による2台の車両の遠隔型自動運転の技術検証
  - ・自動運転電動カートによる移動サービスの実現に向けた遠隔監視：操作、管制技術の検証 等

